

# 〇様邸

兵庫県芦屋市

◎麻野敏夫氏 実践事例

## ご夫婦それぞれの理想が 実現したリフォーム計画

高級住宅地として名高い芦屋市。中でも、山の手にある〇様邸は、南ヨーロッパの集合住宅のような低層で瀟洒（しょうしゃ）なマンション。長くお住まいのマンションをリフォームしたいという依頼を受けて、アル・プランニングの麻野敏夫氏が、間取りの変更から、意匠デザインまでをご提案。施主様のご要望を取り入れながら、快適で省エネを実現した理想の住まいをご紹介します。

### お子様の独立が リフォームのきっかけ

約25年前に分譲マンションを購入された施主の〇様ご夫妻が、住まいのリフォームを考えるきっかけとなったのは、お子様二人の独立でした。「子どもが独立して家を出ることになり、これからの夫婦の生活を考えることになりました」と〇様。「家を新たに購入するか、この家をリフォームするか、選択肢として考えましたが、ルーパルコニーの広さと眺望の良さは他では得難いと思い、リフォームに決めました」

以前の〇様邸の間取りは、床面積80・75㎡の3LDK（ルーパルコニーは、63・75㎡）。二つの洋室をお子様それぞれご自分の部屋として利用し、ご夫婦は6帖の和室を主寝室としておられました。

今回のリフォームは、間取り変更や新しい住宅設備の採用というだけでなく、これからご夫婦二人が生活を楽しむための空間として設計することを要望。その考えを基本に数々のこだわりを実現したプランとなりました。



#### ∴ DATA

所在地：兵庫県芦屋市  
 家族構成：夫妻（50代前半）  
 物件：築25年のルーパルコニー付マンション  
 床面積：80.75㎡  
 ルーパルコニー：63.75㎡  
 施工期間：2009年5月7日～6月13日

